

<生活力の向上>

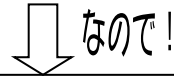
「生活力=生きていく力 及び 困ったときに対応できる力」だと考えています。

← 数/聞き力/色/物事のマッチングや理解 などなどなど…全ての分野のスキルの事！
一般的には、「働く力 準備と片付け 家事(掃除 洗濯 食事の準備) 等であり、余暇」も含まれます。

物事を知る→覚える(学ぶ) 方法
*実践 *映像化 *ルーティン化
*言葉と実物及び行動のマッチング
は導入として、悪い事ではありません。



「応用力 と 臨機応変力 (柔軟な判断力)」
にはなるには弱く、繋がり難いです。



あくまでも導入部分は、通過点として考え、
1人立ちへの切り替えとして、(大人と声掛け離れ)
は早い段階での見極めは必須です！

スイッチの活動は、この力<生活力>の
向上を絶対とした内容になっています。

- *行動をルーティン化にしない為に
指示をパターン化しない
- *「チャレンジ→1人で出来そう→確認
→出来た→1人でやる」という工程
を素早く行っています。

踏み出した
1歩が！

ここを、携わる大人(家族や支援と指導者)が
勇気ある1歩を踏み出せるか！に関わってきます。

本当の「生活力=生きる力」になります★

※この力が、結局は「考える」力にもなっていますよね！

作業を卒なく熟す力があっても、社会では生活力の方が重視されることが多いです。

一般社会も福祉社会も、「社会」のカテゴリーは同じです。

福祉事業所にも、様々なタイプがありますが、選択肢をより多く持つには、生活力の向上が絶対です。

作業力は学ぶことで取得と向上の可能性はありますが、生活力は今までの生活などの積み重ね
となり、改善と修正には時間を要します。

社会は学校とは違う事を、しっかり踏まえるいことが大切です！

〔正しく挨拶が出来る。トイレの使い方。身だしなみ。食事の仕方。様々な状況での姿勢。
ルールとマナーが守れるか。困ったときの対処と対応が出来るか 等〕

<ことば練習 レベル 2>

- ことば練習 レベル 1 → しゃべることに慣れる / 口を早く動かす練習 などです。

Ex: *音読 (文字をたどる → スムーズに読む)

*報連相や挨拶など生活上に必要な事を言葉で伝える。

*文字や絵カードの早読み (フラッシュカードの要素も含む)

- ことば練習 レベル 2 → その日の活動の区切りで、その時の活動について2行くらいで 文(日記)を書きます。

EX①: 今日の給食は〇〇でした。(状況)
〇〇がおいしかったです。(気持ち)

EX②: 午前中、〇〇に▲君と行きました (状況)
リーダーをがんばりました。(状態)
つかれました。(気持ち)

目的: 活動の振り返り。気持ちを言葉で表す。文の構成力(まとめる力)。文字練習。考える力
など 時間設定を加えて行います。

難しい練習ですが、上記以外の単純に「集中力」「気持ちの落ち着き」などにも、効果があります！

※実際に表れています。

メモを取る力にも繋がっていきます。